

県立大学発、地域活性化 アイドルユニット結成プロジェクト

・ 構成員

代表者	： 柴田麻世	(文化創造 学科 1 年)		
会計	： 國光美穂	(文化創造 学科 1 年)		
指導教員	： 齊藤理	(文化創造 学科)	田村洋	(文化創造 学科)
メンバー	： 黒川咲子	(文化創造 学科 1 年)	松本佳子	(文化創造 学科 1 年)
	馬場裕之	(文化創造 学科 1 年)	松浦みのり	(文化創造 学科 1 年)
	深田千晴	(文化創造 学科 1 年)	小川大貴	(文化創造 学科 2 年)

・ プロジェクトの目的

① 山口市内の福祉施設（特に宮野地域の老人ホーム等を中心に）、学校等を訪問し、地域の皆さんに元気を届けるほか、積極的に地域のイベントや催し物に参加し、盛り上げたり、1日駅長や交通安全を呼びかけるキャンペーンなどにも協力したりといった活動を通し、地域貢献を果たせるとしています。

② 県立大学のすぐ傍の宮野地域の文化や歴史、良いところについて、地域の皆さんにインタビューしながら、宮野や県立大学の PR に繋がるプロモーションビデオをまとめます。これは学内 HP や各種イベント等で紹介できます。

・ 活動内容

1. ユニット名決定・衣装決め・紹介 VTR 放送

まず、私たちはアイドル活動をするにあたり、3人のユニット名を決めました。私たちが所属している文化創造学科の1年生の学生に決めていただきました。その名も「Citrons」です。Citronsとは、夏みかんを英語にした Chinese Citron から取った Citron に複数形の s をつけて決めました。

続いて衣装を決めました。3人のイメージカラーである赤・黄・青に合わせて3色揃え、目にも楽しい衣装になるよう心がけました。衣装は全部で3種類あります。

福祉施設への訪問も行ったため、お年寄りの方々にも受け入れられやすい衣装となるように気を配りながら、毎回選択していました。

7月初旬から中旬にかけて、学生の皆さんに向けた紹介 VTR を撮影・放送しました。この VTR では、3人の自己紹介や、山口県立大学の好きなところなどが収められています。



2. イベント出演

私たちは、山口市内のイベントを中心に出演してきました。

10月28日、仁保病院で行われた「秋のふれあいたんぽぽまつり」でデビューを果たしました。この日は、仁保病院での公演後すぐに宮野駅に移動し、「着物喫茶」でも歌わせていただきました。



続いて11月4日に行われた本学の華月祭ではオープニングを務めました。会場の方々からは暖かい声援を送っていただきました。



11月11日には、「大殿ふるさとまつり」に出演しました。この日は生憎の雨だったのですが、大勢の方がお越しくださり、アンコールまでいただきました。



11月24日には、道場門前で行われた、東日本大震災のチャリティーイベントに参加しました。道行く人が立ち止って聞いてくださって、嬉しかったです。



12月23日には、防府市観光振興課の方からの依頼で、徳山駅で行われた、防府市周南市観光振興協定イベントに出演しました。色々な年齢層の方々が来られるのを想定して、キャンディーズに加え、AKB48の曲も練習し、披露しました。このイベントでは、個人の楽屋も用意していただきました。そして、ファンと名乗る方もいらっしやって、握手をしたり、会話をしたりと、ちょっとした交流をすることも出来ました。



各イベント後には、毎回反省会をして、次のイベントへ生かしました。また、撮影・連絡等は全てスタッフ全員で行いました。

3. 福祉施設訪問

私たちは福祉施設への訪問も行いました。福祉施設訪問の際は、毎回スタッフでアポ取りや、日時調整、連絡、撮影、記録を手分けして行いました。

まず12月13日に宮野地域にある養護施設ふしの学園に訪問しました。ただ、歌って踊るだけではなく、全員で楽しめる参加型の演出を心がけました。触れ合いながら行うじゃんけん列車というゲームでは、一気に距離が縮まり、喜んでいただけました。



12月21日は、空きコマを利用して、2つの施設を訪問しました。まず午前中はハートホーム宮野に、午後からはデイサービス田村邸に訪問しました。キャンディーズを披露したり、童謡を歌ったり、クイズ・折り紙をしたりと、内容の濃い交流が出来ました。



1月11日に再びハートホーム宮野を訪問しました。この日は前回リクエスト頂いたキャンディーズの春一番を練習し披露しました。みなさん喜んでくださいました。



1月19日にはふしの学園でイベントを開催しました。私たちの集大成として今までの楽曲に加え、オリジナルソングも披露しました。みなさん、笑顔で迎えて下さり、「楽しかった」「また来てほしい」などといった、数々の温かいお言葉をいただきました。



・成果及び感想

このプロジェクトを通して、普段なかなか経験することのない貴重な体験を多くさせていただきました。アイドルとして地域の方々に元気を与えようという目的で始めたこのプロジェクトですが、私たち自身も多くの方に笑顔や元気を沢山いただきました。また私たちを通して、山口県立大学の存在を多くの方に知っていただいたり、私たちをきっかけとして、宮野や大学についてのお話が出来たりと、微力ながらも大学のPRや地域活性化に貢献できたのではないかと思います。また、人に何かを伝えることの難しさや大変さ、厳しさを痛感するとともに、自分以外の誰かを笑顔にする喜びや楽しさを知ること出来ました。その反面、思うようにいかないことも多々あり、みなさんのご期待に100パーセント沿えたかは分かりませんが、誰か一人でも私たちを通して、笑顔になったり、元気になったりしてくれていたら幸いです。そして、このチャンスを与えて下さったすべての方々に心から感謝しております。ありがとうございました。

・指導教員のコメント

ご当地アイドルの類は全国で数百あると言われ、今や地域活性化の切り札となりつつあるが、今回の活動も県立大学と地域社会との交流促進に寄与していた。特に、自ら進んでデイケアサービスなど老人施設を訪問し、地道に触れ合いの輪を拡げていたことは大いに評価できる。県立大の周りには、若者の元気を欲している処は幾らでもあって、今後も彼らの活動が代を継ぎながら続いていくことを地域の皆さんも大いに期待していることと思う。

・収支報告

配分額		95,000 円
支出内訳	衣装代	49,169 円
	小道具代	2,940 円
	交通費	2,350 円
	謝礼金	3,000 円
		円
支出合計		57,459 円
残金		37,541 円